

小学校第2学年3組 図画工作科学習指導案

【日時】令和4年11月2日(水)10:05~10:50 【場所】2年3組教室 【指導者】島崎 智朗

本授業の主張点

算数科と関連付けた題材により、「形」という造形的な見方を働かせることができるようにします。また、デジタルポートフォリオを活用することで、作りだした意味や価値を自覚する児童の姿をお見せします。

1 題材名 見付けた！すてきな形と色（鑑賞）

2 題材の構想

(1) 題材について

本題材は、児童が材料や場を基に多様な表現をつくりだし、自らが作りだした表現の中からお気に入りの形と色を見付けていく能動的な鑑賞の題材である。

算数科「三角形と四角形」において、児童は、三角形や四角形の定義、辺や頂点といった用語、図形の分解や敷きつめを学習している。この学習は、図画工作科の見方である「形」に関わる内容であり、図画工作科の題材とつなげることで児童が自分の思いをより豊かに表現できると考え、本題材を設定した（図1）。

本題材の主材料は透明色紙である。児童は、大きさや色の異なる透明色紙を手に取り、並べたり重ねたりしながら手や体全体の感覚を存分に働かせて活動していく。その中で材料の特性に気付き、変化する形や色を繰り返し試しながら多様な表現をつくりだしていこう。活動の中で生まれる、「好きな形と色が見付かった」という思いは、児童が作りだした意味や価値を自覚し、新たな造形活動や身近な生活につながるものになると考える。また、低学年であるこの時期に、好きな形や色に主体的に関わる経験を積み重ねることは、中学校が目指している、形や色が感情にもたらす効果の理解や、形や色の特徴から心豊かに表現する力の育成へとつながるだろう。

(2) 児童について

9月実施のアンケートでは、「図工の学習は好きですか」という項目に対して、肯定的な回答をした児童が34名中33名であった（4月実施のアンケートでは34名中33名）。また、「図工で学習したことが自分の生活に役立っていると思いますか」という項目に対しては、肯定的な回答は34名中28名であった（4月実施アンケートでは34名中29名）。4月実施のアンケートと比べると大きな変化は見られないが、自由記述を見ると、4月アンケートでは「楽しいから」「好きだから」といった漠然とした内容が多かったのに対し、9月アンケートでは「想像してつくれるから」「音楽の勉強に役立ったから」等、具体的な内容を書いている児童が多くなっている。

これまで児童は、国語科や音楽科と関連付けた図画工作科の題材に取り組んできている。その中でも、6月実践「あったらいいなこんなもの（工作に表す）」、7月実践「わたしのすてきなぼうし（立体に表す）」は、いずれも国語科の学習中に、「図工で表現してみたい！」という児童の思いをもとに実践したものである。これは、児童自身が自ら創造することができるようになってきている姿であると考えられる。また、活動中に「思うように表現できた」「ここをこだわった」と思った場面では、タブレット端末を活用したデジタルポートフォリオの作成を行っており、児童は、自分の表現を見つめ、活動中に働かせた造形的な見方・考え方に目を向けることができるようになってきている。今後も他教科の学びの中で抱く表現への思いを大切にすることで、児童が生活とのつながりを実感し自ら創造しようとする姿を目指したい。

(3) 指導について

1時目は、児童が広げる思考を十分に働かせ、多様な表現をつくりだすことができるようにしたい。大きさの異なる5色の透明色紙を準備したり、光の違いが出るように屋内と屋外に場を設定したりする

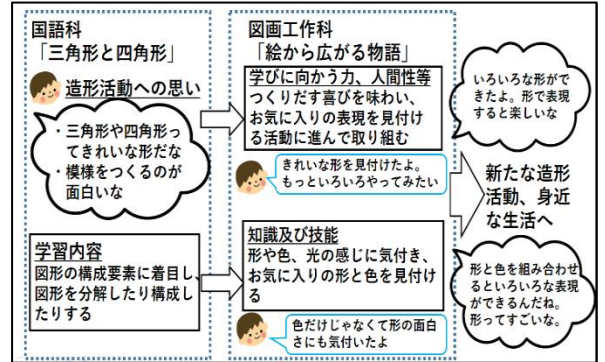


図1 算数科と関連付けた題材

ことで、児童が形、色、光の組み合わせを自由に試すことができるようにする。また、共同の場で活動することで、友達の実現に目を向けることができるようにする。多様な表現をつくりだした後は、自他の表現を比較したり、選択したりしながらお気に入りの形と色を見つけていく。そこで、「好きな形や色が見付かった」と思う場面では、タブレット端末のカメラ機能を使って活動や表現を記録することができるようにする。刻々と変化する活動の中でも、その瞬間に自分なりの見方を働かせて対象や事象を捉えることで、つくりだした意味や価値の自覚につながると考える。また、児童の表現を見取る手立てとしてもデジタルポートフォリオを活用し、支援に生かすことでその自覚を確かなものになりたい。

2時目は、1時目にできた表現を形や色、光といった造形的な視点ごとに分けて整理し、共有する場面を設定する。児童は改めて自他の表現を造形的な視点で捉え直し、そのよさや面白さに気付くことができるようになる。また、児童が比較する思考、選択する思考を十分に働かせることができるように、デジタルポートフォリオを全体で共有し、多様な表現に触れることができるようにする。その後は、「自分だけのとおきおきの表現をつくりたい」という思いが児童から出ることが予想される。児童の思いを大切にしながら活動を展開していきたい。

(4) 深い学びについて

造形的な見方・考え方とは「感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと」である。本題材で児童が働かせる見方は、主に「色、形、光」の造形的な視点で対象や事象を捉えることである。また、考え方は、主に「広げる思考、比較する思考、選択する思考」で発想や構想をすることである。児童は、この見方・考え方を働かせることで意味や価値をつくりだしていく。小学校における造形的な見方・考え方の具体は、表1の通りである。

表1 小学校における造形的な見方・考え方

学年	見方	考え方
低学年	・形や色など (形、線、色、触った感じ等)	・イメージをもつ (広げる) ・具体化、抽象化 (多面的にみる、順序立てる、分類する、比較する、選択する、関係付ける、応用する等)
中学年	・形や色などの感じ (形や色などから得られる印象、楽しいやすずしい等)	
高学年	・形や色などの造形的な特徴 (色の鮮やかさ、動き、奥行き、バランス等)	

表1に示す造形的な見方・考え方を働かせながら学ぶ本題材及び本時における児童の姿を、全体要項の「深い学び」に関わる児童の姿と関連させると表2のようになる。

表2 本題材で目指す「深い学び」に関わる児童の姿

	「深い学び」に関わる児童の姿	本題材及び本時における児童の姿
①	学習活動に見通しをもち、計画を立てたり調整したりしながら、粘り強く取り組み続けている。学習課題に対して関心をもち、主体的に課題解決を図ろうとしている。	材料や場に進んで関わりながら、透明色紙を並べたり重ねたり光に当てたりして表現を試し、多様な表現の中からお気に入りの形と色を見付けようと活動している。
②	「見方・考え方」を働かせながら思考・判断・表現し、自分の考えを再構築している。	造形的な見方で対象や事象を捉え、表現を広げたり、つくりだした多様な表現を比較したり選択したりしながらお気に入りの形と色を見つけている。
③	知識が概念化し、知識の質が高まっている。	変化する形や色の面白さや楽しさに気付き、新たな表現をつくりだしている。
④	学びの成果を次の学習や生き方に生かす目的意識や達成感を得ている。	形や色への気付きや造形活動の達成感が、新たな造形活動や身近な生活につながる目的となっている。
⑤	他教科等の学びの経験を結び付け、意欲を高めたり、解決の道筋を広げたりしている。	算数科の学習内容を造形活動に生かし、「形」という造形的な見方を働かせることができている。

3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

透明色紙を並べたり重ねたりしながら様々な表現を試し、自他の多様な表現の中からお気に入りの形と色を見付ける活動を通して、造形的なよさに気付き、見方や感じ方を広げることができる。

(2) 評価規準

ア 透明色紙を並べたり重ねたりする感覚や行為を通して、形や色、光の感じに気付き、お気に入りの形と色を見付けている。 【知・技】

イ 透明色紙を基にできる形や色などの造形的なよさについて、感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げている。 【思・判・表】

ウ つくりだす喜びを味わい、透明色紙を使ってお気に入りの表現を見付ける活動に進んで取り組もうとしている。 【主】

4 題材の指導計画（全2時間 本時1／2時間目）

時	主な学習活動（○）	指導上の留意点（・）	評価規準（◆）【観点】
1 本 時	○透明色紙を並べたり重ねたりしながら、材料の特性に気付く。 ○並べ方や重ね方を試したり、光が当たる場所で活動したりしながら表現し、お気に入りの形と色を見付ける。 ○タブレット端末を使い、「好きな形や色が見つかった」と思う場面でデジタルポートフォリオに記録する。	・児童が造形的な見方・考え方を働かせながら活動し、多様な表現が生まれるように、材料と場を工夫する。 ・デジタルポートフォリオの作成を通して、児童が自分なりの見方で対象を捉え、つくりだした意味や価値を自覚することができるようにする。 ・児童が造形的な見方、造形的な考え方を働かせ、つくりだした意味や価値を自覚することができるように、児童の思いに共感したり、活動や表現を称賛したりする。	◆透明色紙を並べたり重ねたりする感覚や行為を通して、形や色、光の感じに気付いている。 【知・技】 ◆様々に表現を試しながら、進んで活動に取り組もうとしている。 【主】
2	○自他の多様な表現を比較、選択しながら、自分のお気に入りの形と色を基に表現する。 ○デジタルポートフォリオを見ながら活動をふりかえり、つくりだした意味や価値を自覚する。	・造形的な見方・考え方をより働かせることができるように、1時目につくりだした表現を造形的な視点である形や色ごとに整理する。また、多様な表現を学級全体で共有する。 ・事前に児童のデジタルポートフォリオに目を通しておくことで、一人一人の活動や表現の変容を見取ることができるようにする。	◆形や色などの造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げている。【思・判・表】 ◆自分のお気に入りの表現を見付けようとしている。 【主】

5 本時の指導（1／2）

(1) 深い学びに関わる児童の姿

学習活動に見通しをもち、計画を立てたり調整したりしながら、粘り強く取り組み続けている。学習課題に対して関心をもち、主体的に課題解決を図ろうとしている。	
「見方・考え方」を働かせながら思考・判断・表現し、自分の考えを再構築している。	
知識が概念化し、知識の質が高まっている。	○
学びの成果を次の学習や生き方に生かす目的意識や達成感を得ている。	
他教科等の学びの経験を結び付け、意欲を高めたり、解決の道筋を広げたりしている。	○

(2) 指導目標

形や色、光といった造形的な視点で対象や事象を捉え、多様な表現を比較したり選択したりしながら自分のお気に入りの形と色を見付けることで、自分の見方や感じ方を広げることができる。

(3) 評価規準

ア 透明色紙を並べたり重ねたり光に当てたりする感覚や行為を通じて、形や色、光の感じに気付き、多様な表現をつくりだすことができる。 【知・技】

(4) 「見方・考え方」を働かせるための手立て

本時の授業における「造形的な見方」を働かせている姿は「形や色、光といった造形的な視点から対象や事象を捉えること」である。また、「造形的な考え方」を働かせている姿は「形、色、光の組み合わせを試し、イメージを広げること」である。そのために以下の手立てをとる。

- ・ 大きさの異なる5色の透明色紙を材料とし、光の違いがでるように屋内と屋外に場を設定する。
- ・ 共同で活動する場を設定し、友達の表現に目を向けることができるようにする。
- ・ 「好きな形や色が見つかった」と思う場面で、児童が自由にデジタルポートフォリオに写真を記録することができるようにする。

(5) 展開

学習活動と児童の反応 (□)	教師の働きかけと形成的評価 (◆)
<p>1 学習を見通し、めあてを立てる。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 透明の色紙だよ！向こうの景色が見えるね。 ・ 重ねたり、並べたりすることができそうだ。 ・ 算数では普通の色紙で敷きつめをしたね。 	<p>1-(1) 透明色紙を1人1枚ずつ配り、材料の特性に触れることができるようにする。</p> <p>1-(2) 近くの友達と一緒に透明色紙を並べたり重ねたりすることで材料の特性を広げ、めあてにつなげる。</p>
<p>透明色紙を並べたり重ねたりしてお気に入りの形と色を見付けよう</p>	
<p>2 表現を試し、お気に入りの形と色を見付ける。(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 透明色紙が重なったところは色が変わるね。 ・ ずらして重ねるといろいろな形と色ができるよ。面白いな。 ・ 重なったところはだんだん色が濃くなるね。 ・ 重ね方を工夫して透けているところが三角形になるようにしたよ。 ・ わたしは、光が当たる場所の方が好きだな。透明色紙がキラキラしているよ。 ・ ○○さんの表現もいいな。どうやってつくったのか聞いてみたいな。 ・ いい感じの形と色ができたぞ！写真に撮って残しておこう。 ・ デジタルポートフォリオの写真を見返して前の表現と比べてみよう。 	<p>2-(1) <u>児童が造形的な見方・考え方を働かせ、多様な表現をつくりだすことができるように、形や色の組み合わせ方、光の当たり方を様々に試すことができるような材料と場を設定する。</u></p> <p>◆ 様々な材料や場を試しているか。 (活動の様子・デジタルポートフォリオ)【知・技】 B 材料の並べ方や重ね方、場所を様々に試している。 C→ 友達の活動に目を向けたり、場を紹介したりすることで活動を広げる。</p> <p>2-(2) 児童の思いを引き出し、つくりだした意味や価値への自覚を促すために、称賛や共感の声掛けを行う。</p> <p>2-(3) <u>デジタルポートフォリオにお気に入りの表現を記録することで、造形的な見方を働かせて対象や事象を捉え、つくりだした意味や価値を自覚することができるようにする。</u></p>
<p>3 振り返りをする。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくは三角形がたくさんできるようにしたよ。 ・ わたしは外で活動してみたよ。光の感じで表現が全然違うんだね。 ・ 友達はどんな表現をしたのかな。デジタルポートフォリオを見てみたいな。 ・ もっとやってみたいな。次の時間は自分だけのとっておきの表現をつくりたいな。 	<p>3-(1) デジタルポートフォリオの写真を基に振り返りを行うことで、お気に入りの形と色を再確認し、つくりだした意味や価値を自覚することができるようにする。また、自他の多様な表現に触れることで形や色の面白さや楽しさを感じることができるようにする。</p> <p>3-(2) 次時にやってみたい活動を問うことで、次の活動への意欲と見通しを持つことができるようにする。</p>